

コース名	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化		
コース番号	24-16-12-107-520	受講料	3,300円(税込)
日程	令和6年11月21日(木)~22日(金)	時間	9:30~16:30
概要	表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得する。		
推奨対象者	ITを活用した業務改善に取り組む方(Excel操作レベル:★★★☆☆)。		
実施機関	クレッセント株式会社		
開催場所	クレッセントパソコンスクール 〒930-0002 富山市新富町2-4-25 カーニープレイス富山 (※駐車場なし)		

カリキュラム内容(案)		時間
■マクロの基本知識	<p>(1)マクロ記録 ・マクロの記録について説明する。マクロの記録を使用する手順を説明し、マクロの記録と実行の演習を行う。</p> <p>(2)VBAとは ・VBAについて説明する。マクロの記録を使用して記録されたコードを確認する。</p> <p>(3)プログラム開発環境 ・Excelを使用したプログラムの開発環境を整える手順を説明する。開発タブを表示させ、開発環境を整える。</p> <p>(4)プログラミング作業の流れ ・プログラミング作業の流れを説明する。変数、演算記号の説明を行う。簡単なプログラムを実際に組む演習を行う。</p>	3h
■基本文法	<p>(1)プロシージャ、モジュール ・プロシージャ、モジュールについての説明を行う。標準モジュールを挿入し、Subプロシージャの作成演習を行う。</p> <p>(2)プロパティ、メソッド ・プロパティ、メソッドについての説明を行う。</p> <p>(3)オブジェクト ・オブジェクトについての説明を行う。Worksheetオブジェクト、Rangeオブジェクトのプロパティを変更するプログラミング演習を行う。ワークシート上にコマンドボタン等の設置方法を説明し、作成演習を行う。</p>	3h
■制御文法	<p>(1)条件分岐処理 ・条件分岐処理について説明する。IF文、Select Case文を使用したプログラミング演習を行う。</p> <p>(2)繰り返し処理 ・繰り返し処理について説明する。For文、Do Loop文を使用したプログラミング演習を行う。条件分岐と組み合わせ、簡単な成果物の作成演習を行う。</p>	6h
合計		12h

※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。